



## 泥だらけで田んぼを楽しむ

7/23 国営アルプスあづみの公園 泥リンピック

国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）の里山文化ゾーンで7月23日、「泥リンピック」が行われ、県内外から約30人が参加しました。この催しは、公園内の泥田に親しんでもらおうと同公園が松本大学の協力を得て企画したものです。当日は同大学の学生たちが考えた宝探しゲームや鬼ごっこなどの種目を、参加者は泥だらけになりながら楽しみました。

2回目の参加となった山路彩生さん（三郷明盛）は「水が冷たくて気持ち良かったです。障害物レースではみんなと競争したことが楽しかったです」と話しました。



## オルゴールで市歌に親しんで

7/12 市歌収録のディスクオルゴールが寄贈

市歌「水と緑と光の郷」を収録したディスクオルゴールが市に寄贈され、受納式が7月12日、市役所で行われました。寄贈したのは、ギターなどの楽器製造を手掛けるフジゲン株式会社（上條啓水代表取締役社長・松本市）です。オルゴールは、楽器製造技術を生かし、市内の安曇野工場で熟練職人が音響などにこだわり3カ月掛けて製作。市役所1階東側ロビーに設置され、午前10時と午後3時に市歌や早春賦などの曲が奏でられます。

## 「山の日」北アルプスの魅力を発信

7/9・10 山岳フェスタ 2016

「山岳フェスタ 2016」（市山岳観光推進実行委員会主催）が7月9日と10日の2日間、豊科南穂高の安曇野スイス村サンモリッツで行われました。この催しは、国民の祝日「山の日」（8月11日）に合わせ、北アルプスの山々や登山の魅力を知ってもらおうと行われたものです。

9日は、山の魅力や厳しさをテーマにしたパネルディスカッションや安全登山講座などが行われたほか、山岳写真の展示や登山グッズの販売、小中学生を対象に、同じ色の足場を使って垂直の壁を登るボルダリング体験など、多彩な催しが行われました。

初めてボルダリングを体験した上原大希くん（穂高北小3年）は「疲れたけどゴールできて、とても楽しかったです」と話しました。



## 安全で安心な農産物を消費者へ

7/21 エコファーマー認定書授与式

エコファーマー認定書授与式が7月21日、穂高有明の農産物加工・販売施設 Vif 穂高（河村佳次理事長）で行われ、同施設に出荷する生産者30人が長野県知事の認定証を受け取りました。この制度は、化学肥料や農薬の使用量削減などに取り組む農業者を認定するもので、認定を受けると認定マークを表示して農産物を出荷することができます。河村さんは「安全で安心な農産物の提供へ自信を持って取り組みたい」と話しました。



## 上達の秘訣は楽しむこと

7/30・31 ジェイテクトSTINGSバレーボール教室

バレーボール・V・プレミアリーグ男子チーム「ジェイテクト STINGS」によるバレーボール教室が、7月30日と31日の2日間、堀金総合体育館などで行われました。この教室は、安曇野バレーボール交流会実行委員会が企画。選手・コーチによる指導のほか、31日には、県内出身選手と恩師による座談講演会が行われました。市内三郷出身で日本代表の浅野博亮選手は、子どものころを振り返り「当時身に付けた最後まで諦めない心や技術が今の自分に生きています。何より楽しんでプレーすることが大切です」と参加した会場の子供たちに呼び掛けました。

## 安曇野ゆかりの音楽家が共演

7/17 豊科公民館大ホールこけら落とし公演

本年3月に大規模改修・耐震補強工事が完了した豊科公民館大ホールのこけら落とし公演「青島広志のこんには！あづみのコンサート」が7月17日、同ホールで行われました。

この日は、市にゆかりのある青島広志さんと山本知佳さんら4人が出演。父親が堀金三田出身で、テレビなどで活躍する作曲家の青島さんは、時折、ユーモアを交えて曲目などを紹介し、堀金烏川出身のソプラノ歌手の山本さんは「夏の思い出」などを歌いました。コンサートの終わりには、豊科東小学校の児童がステージに登り、市歌「水と緑と光の郷」を会場全員で合唱しました。

ステージで歌った若林亜結さん（豊科東小6年）は「緊張したけど上手に歌えました。ピアノも習っているので、演奏を間近で見ることができ、勉強になりました」と話しました。



市歌を全員で合唱（上） 曲の紹介をする青島広志さん（左下）  
歌声を披露する山本知佳さん（右下）